

# 調査結果の概要

本調査において新規就農者とは、次のいずれかに該当する者をいう。

- ①新規自営農業就農者： 個人経営体の世帯員で、調査期日前1年間の生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者
- ②新規雇用就農者： 調査期日前1年間に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人技能実習生及び特定技能で受け入れた外国人並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。）
- ③新規参入者： 土地や資金を独自に調達（相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。）し、調査期日前1年間に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者  
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者

# 1 新規就農者数

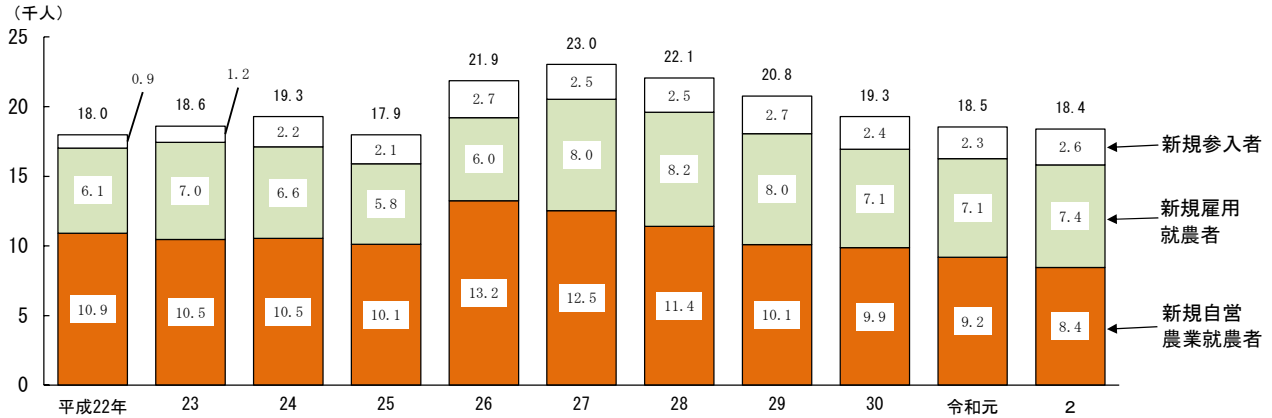
令和2年の新規就農者は5万3,740人で前年に比べ3.8%減少し、このうち49歳以下は1万8,380人で、0.9%減少した。

就農形態別にみると、新規自営農業就農者は4万100人、新規雇用就農者は1万50人、新規参加者は3,580人となっている。

表1 新規就農者数の推移

区分	単位：人								
	計	就農形態別						新規参加者	49歳以下
		49歳以下	新規自営農業就農者	49歳以下	新規雇用就農者	49歳以下			
平成22年	54,570	17,970	44,800	10,910	8,040	6,120	1,730	940	
23	58,120	18,600	47,100	10,460	8,920	6,960	2,100	1,180	
24	56,480	19,280	44,980	10,540	8,490	6,570	3,010	2,170	
25	50,810	17,940	40,370	10,090	7,540	5,800	2,900	2,050	
26	57,650	21,860	46,340	13,240	7,650	5,960	3,660	2,650	
27	65,030	23,030	51,020	12,530	10,430	7,980	3,570	2,520	
28	60,150	22,050	46,040	11,410	10,680	8,170	3,440	2,470	
29	55,670	20,760	41,520	10,090	10,520	7,960	3,640	2,710	
30	55,810	19,290	42,750	9,870	9,820	7,060	3,240	2,360	
令和元	55,870	18,540	42,740	9,180	9,940	7,090	3,200	2,270	
2	53,740	18,380	40,100	8,440	10,050	7,360	3,580	2,580	

図1 49歳以下の新規就農者数の推移（就農形態別）



○ 新規参加者については、平成26年調査から従来の「経営の責任者」に加え、新たに「共同経営者」を含めたため、利用に当たっては留意されたい。

## 2 新規自営農業就農者数

新規自営農業就農者は4万100人、このうち49歳以下は8,440人で、前年に比べそれぞれ6.2%、8.1%減少した。

図2 年齢別新規自営農業就農者数

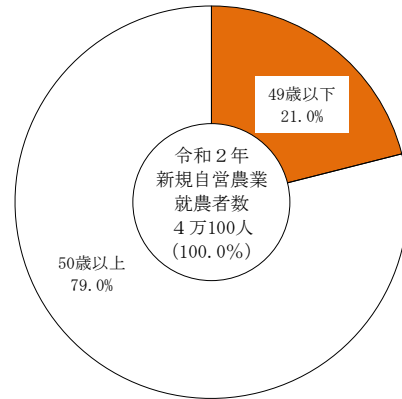


表2 新規自営農業就農者数

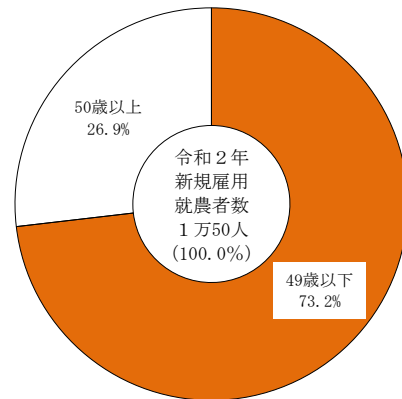
単位：人

区分	計	男女別		
		49歳以下	男	女
令和元年	42,740	9,180	32,860	9,870
2	40,100	8,440	29,550	10,550
増減率(%)	△ 6.2	△ 8.1	△ 10.1	6.9
構成比(%)				
令和元年	100.0	21.5	76.9	23.1
2	100.0	21.0	73.7	26.3

## 3 新規雇用就農者数

新規雇用就農者は1万50人、このうち49歳以下は7,360人で、前年に比べそれぞれ1.1%、3.8%増加した。

図3 年齢別新規雇用就農者数



注：四捨五入により計と内訳の合計は一致しない。

表3 新規雇用就農者数

単位：人

区分	計	男女別		
		49歳以下	男	女
令和元年	9,940	7,090	6,570	3,370
2	10,050	7,360	6,300	3,760
増減率(%)	1.1	3.8	△ 4.1	11.6
構成比(%)				
令和元年	100.0	71.3	66.1	33.9
2	100.0	73.2	62.7	37.4

#### 4 新規参入者数

新規参入者は3,580人、このうち49歳以下は2,580人で、前年に比べそれぞれ11.9%、13.7%増加した。

新規参入した部門別にみると、露地野菜作が1,110人と最も多く、次いで施設野菜作が700人、果樹作が660人となっている。

図4 年齢別新規参入者数

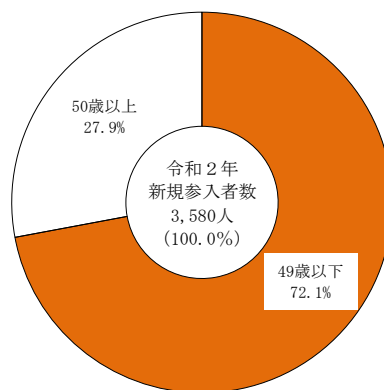


表4 経営の責任者・共同経営者別、男女別新規参入者数

単位：人

区分	計	経営の責任者・共同経営者			男女別	
		49歳以下	経営の責任者	共同経営者	男	女
令和元年	3,200	2,270	2,850	350	2,670	530
2	3,580	2,580	3,170	410	2,950	630
増減率(%)	11.9	13.7	11.2	17.1	10.5	18.9
構成比(%)						
令和元年	100.0	70.9	89.1	10.9	83.4	16.6
2	100.0	72.1	88.5	11.5	82.4	17.6

表5 部門別新規参入者数

単位：人

区分	稲作	畑作	露地野菜作	施設野菜作	果樹作	花き作	その他の作物
令和元年	420	220	960	640	620	100	80
2	490	190	1,110	700	660	120	90
増減率(%)	16.7	△13.6	15.6	9.4	6.5	20.0	12.5
構成比(%)							
令和元年	13.1	6.9	30.0	20.0	19.4	3.1	2.5
2	13.7	5.3	31.0	19.6	18.4	3.4	2.5

区分	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他
令和元年	40	80	10	10	20
2	60	120	10	10	20
増減率(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
構成比(%)					
令和元年	1.3	2.5	0.3	0.3	0.6
2	1.7	3.4	0.3	0.3	0.6

注：1 「畑作」とは、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物をいう。

2 「花き作」とは、露地花き、施設花き、花木をいう。

3 「肉用牛」とは、繁殖牛、肥育牛をいう。

4 「養鶏」とは、ブロイラー、採卵鶏をいう。

5 「その他」とは、養蚕、その他の畜産をいう。